

宝ホールディングス株式会社 会社説明会

安定事業と成長事業が織りなす
独自の事業ポートフォリオ

2019年2月

取締役 森 圭助

「宝」 = 「田から」

＜企業理念＞

自然との調和を大切に、
発酵やバイオの技術を通じて
人間の健康的な暮らしと
生き生きとした
社会づくりに貢献します。

本日お伝えしたいこと

1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

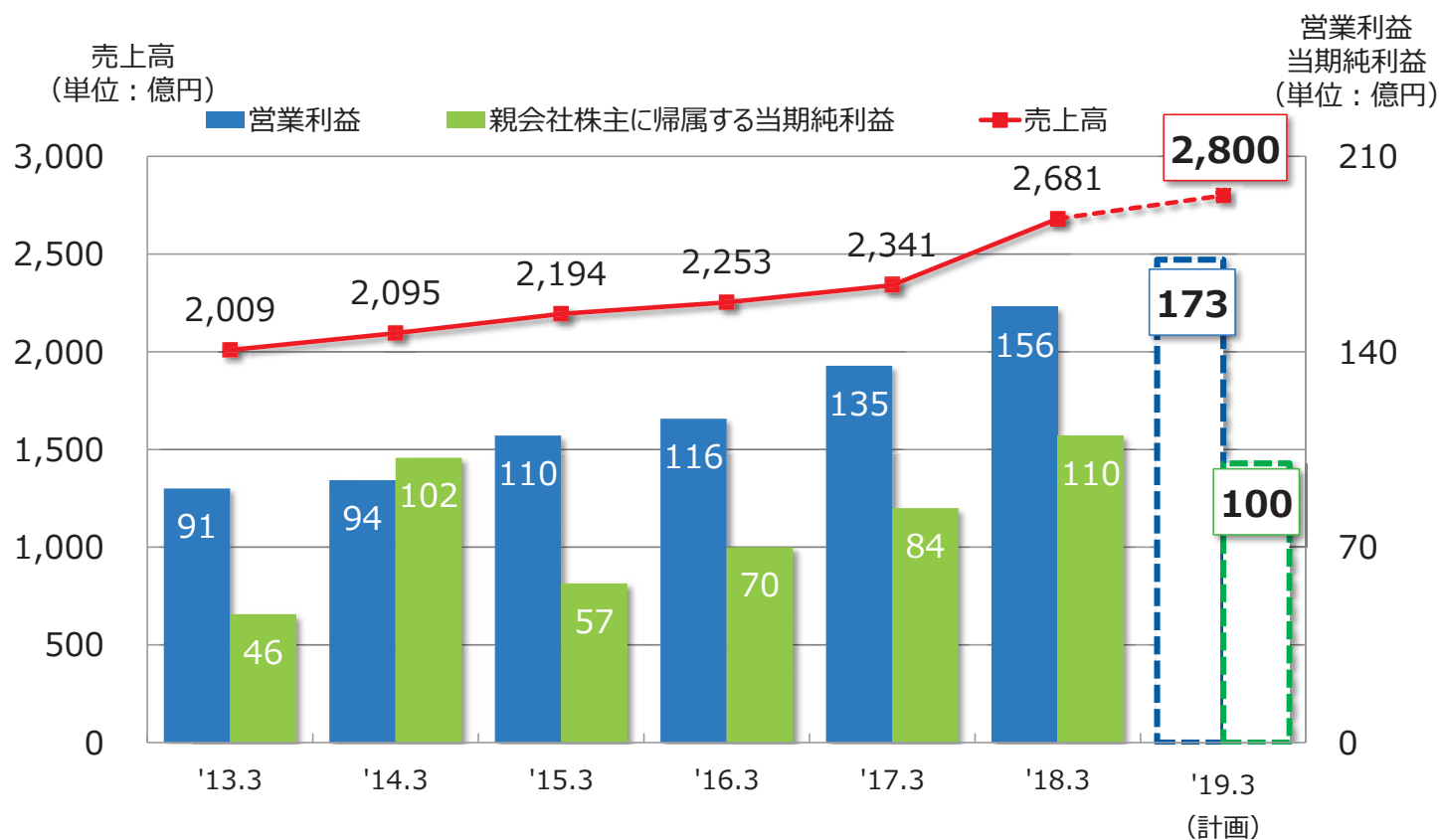
本日お伝えしたいこと

1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

- 商号： 宝ホールディングス株式会社
- 設立： 1925（大正14）年9月6日
- 上場市場： 東証一部（証券コード：2531）
- 本店所在地：京都市下京区四条通烏丸東入
- 取締役社長：木村 睦
- 資本金： 13,226百万円
- 従業員： 4,349名（グループ連結／2018年3月末現在）
- 連結子会社： 62社（国内:15社、海外:47社／2018年12月末現在）

連結業績推移

◆ 売上高・営業利益・当期純利益の推移



宝ホールディングス株式会社



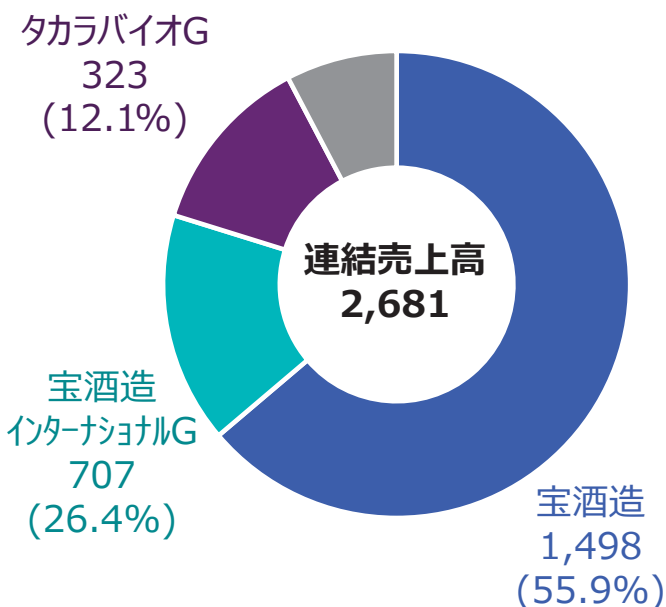
2002年 持株会社化 寶酒造→宝ホールディングスへ商号変更
宝酒造、タカラバイオを設立

2004年 タカラバイオ 東証マザーズへ上場 → 2016年 東証一部へ市場変更
2017年 宝酒造インターナショナルを設立

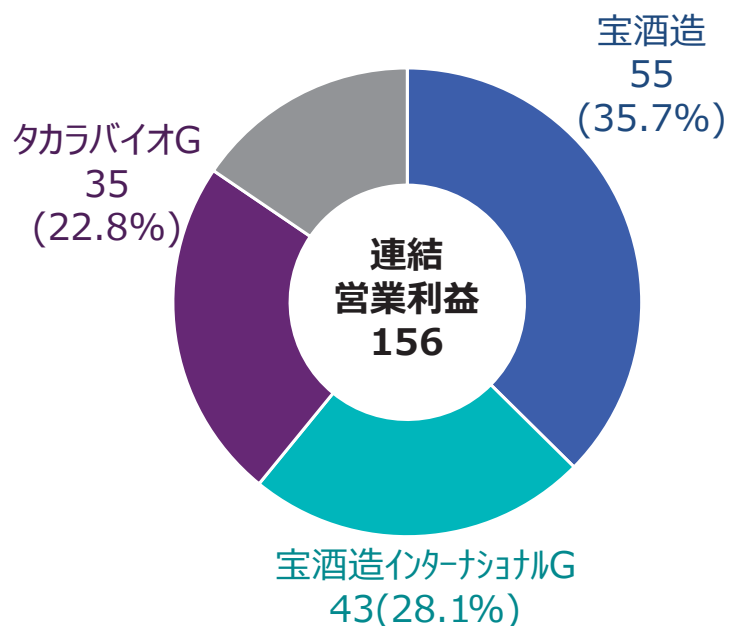
売上・利益構成

(2018年3月期／金額単位：億円)

売上構成



利益構成



本日お伝えしたいこと

1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

宝酒造 ～ 酒類・調味料事業

10

◆ 宝酒造の商品ラインアップ



焼酎



清酒



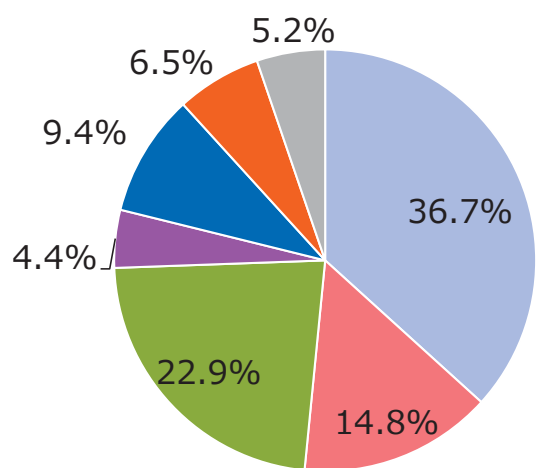
ソフトアルコール飲料



本みりん

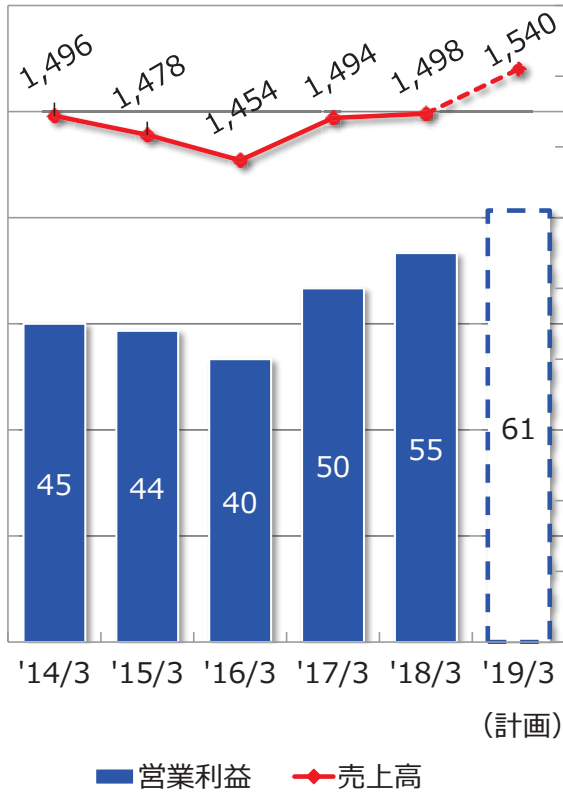


◆ カテゴリー別売上構成比（2018年3月期）

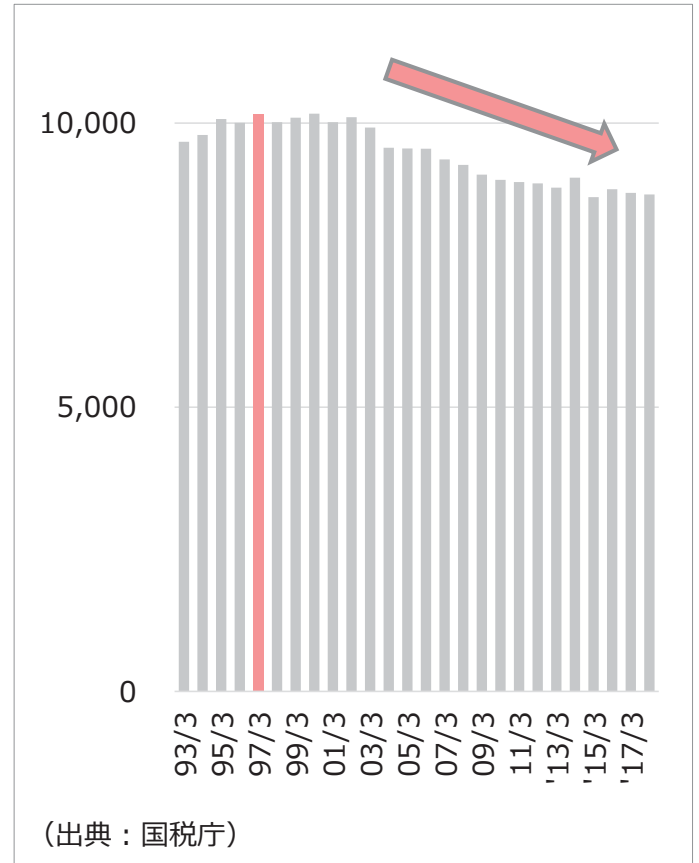


- 焼酎
- ソフトアルコール飲料
- 本みりん
- 原料用アルコール等
- 清酒
- その他酒類
- その他調味料

◆ 宝酒造の業績推移（億円）



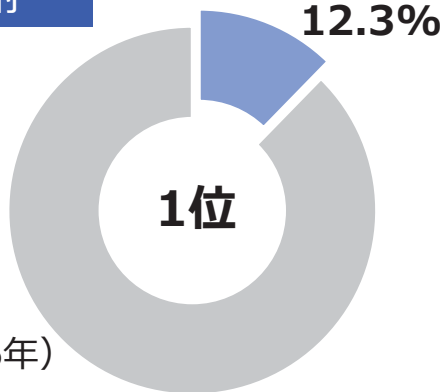
(参考) 酒類課税数量の推移（千kl）



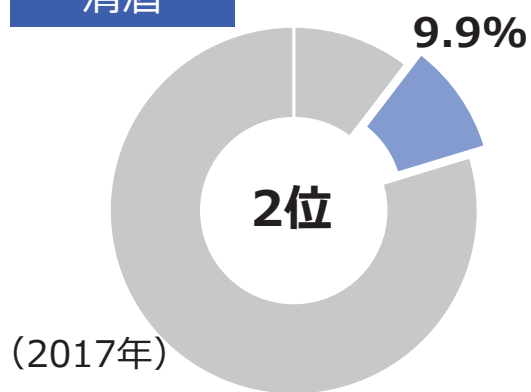
※2018年3月期より事業セグメントを変更しており、2016年3月期以前の数値は参考値です。

「和酒」の各カテゴリーで高いマーケットシェア

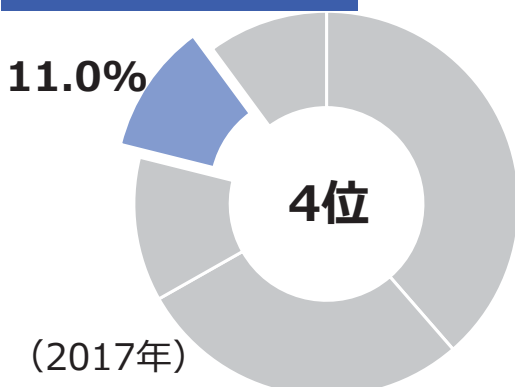
焼酎



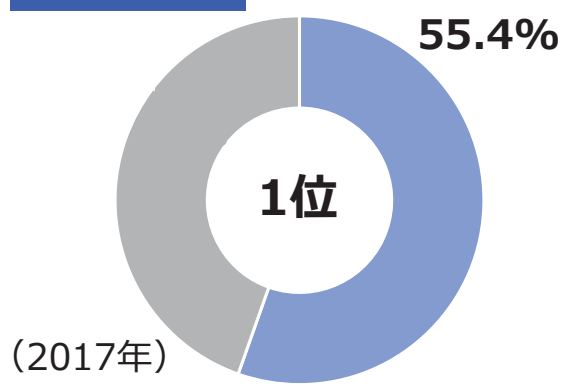
清酒



ソフトアルコール飲料



本みりん



焼酎

宝焼酎



宝焼酎「純」



宝焼酎
「レモンサワー用」「タカラモダン」



全量芋焼酎
「一刻者」
(いっこもん)



本格焼酎
「よかいち」



清酒

松竹梅



松竹梅「天」



松竹梅「豪快」



松竹梅白壁蔵 (神戸市東灘区)

白壁蔵 外観



麹造り



仕込みタンク

松竹梅白壁蔵
〈生酏(きもと)〉



松竹梅白壁蔵
「霽(みお)」
スパークリング清酒



松竹梅白壁蔵
〈純米大吟醸〉



ソフトアルコール飲料

タカラcanチューハイ



タカラ
「焼酎ハイボール」



タカラ「樽熟成
焼酎ハイボール」



寶「極上レモンサワー」



クラフトチューハイ
「産地の恵み」



調味料

タカラ本みりん



料理のための清酒



料理のためのワイン



宝酒造の事業戦略

清酒を中心に
各カテゴリーの売上高を拡大するとともに、
利益率を向上させ、
国内の酒類・調味料市場で
和酒No.1メーカーとしての確固たる
ポジションを確立する。

(宝グループ中期経営計画2019)

本日本お伝えしたいこと

1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

宝酒造インターナショナルグループ ～ 海外事業

18

海外酒類事業

日本からの輸出および海外での現地生産により、清酒「松竹梅」を世界各地域で提供

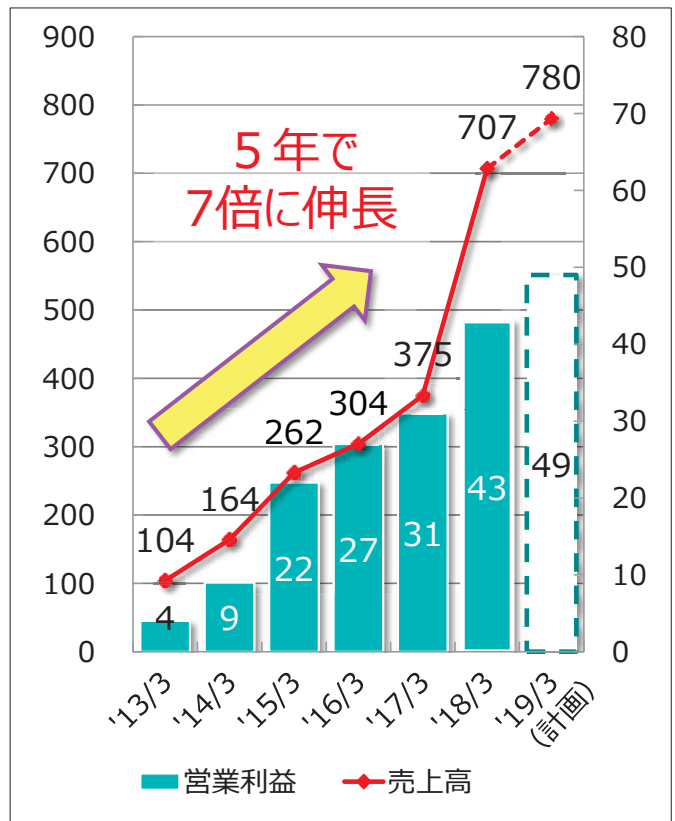


海外日本食材卸事業

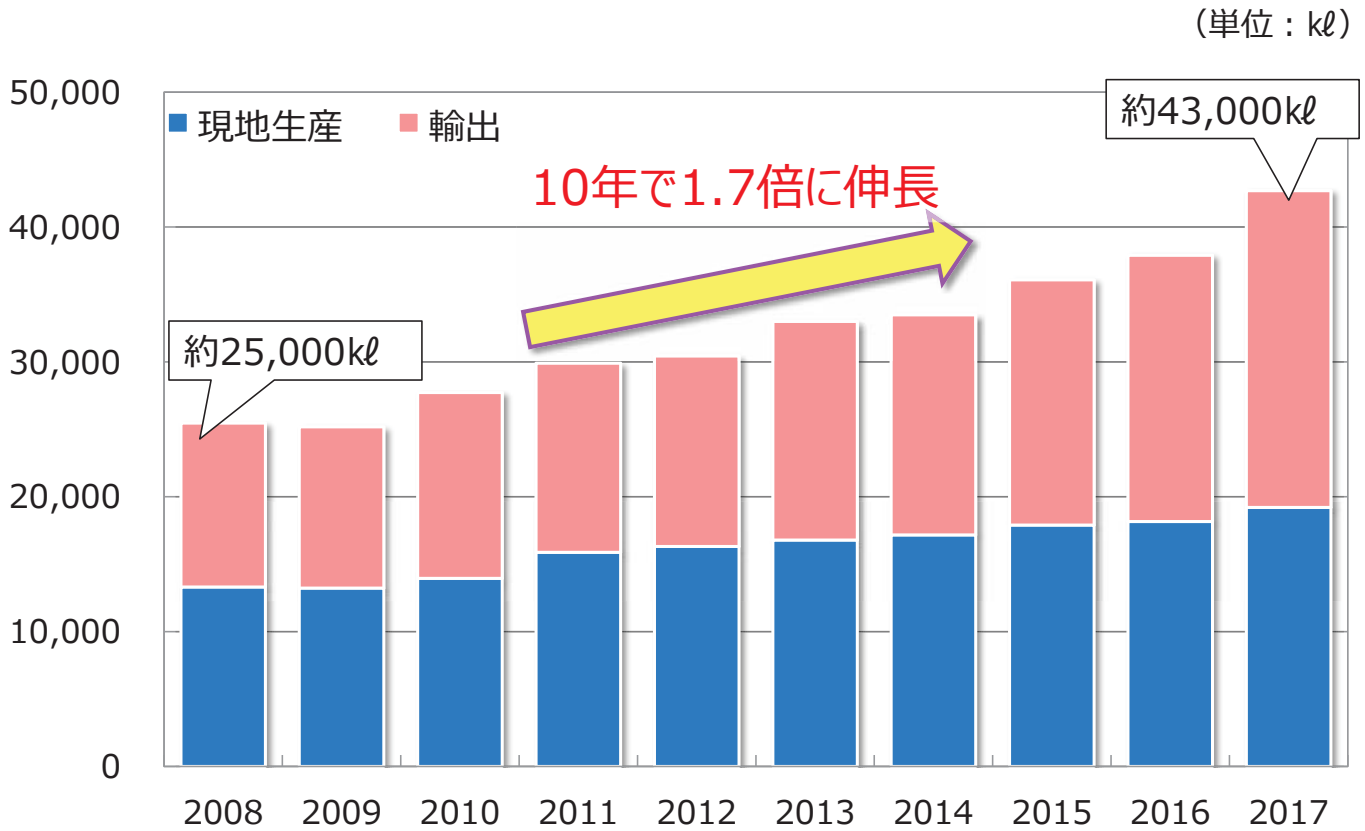
コメや寿司ネタなどの日本食材や清酒、調味料を日本食レストラン、小売店などに供給



◆ 業績推移（億円）

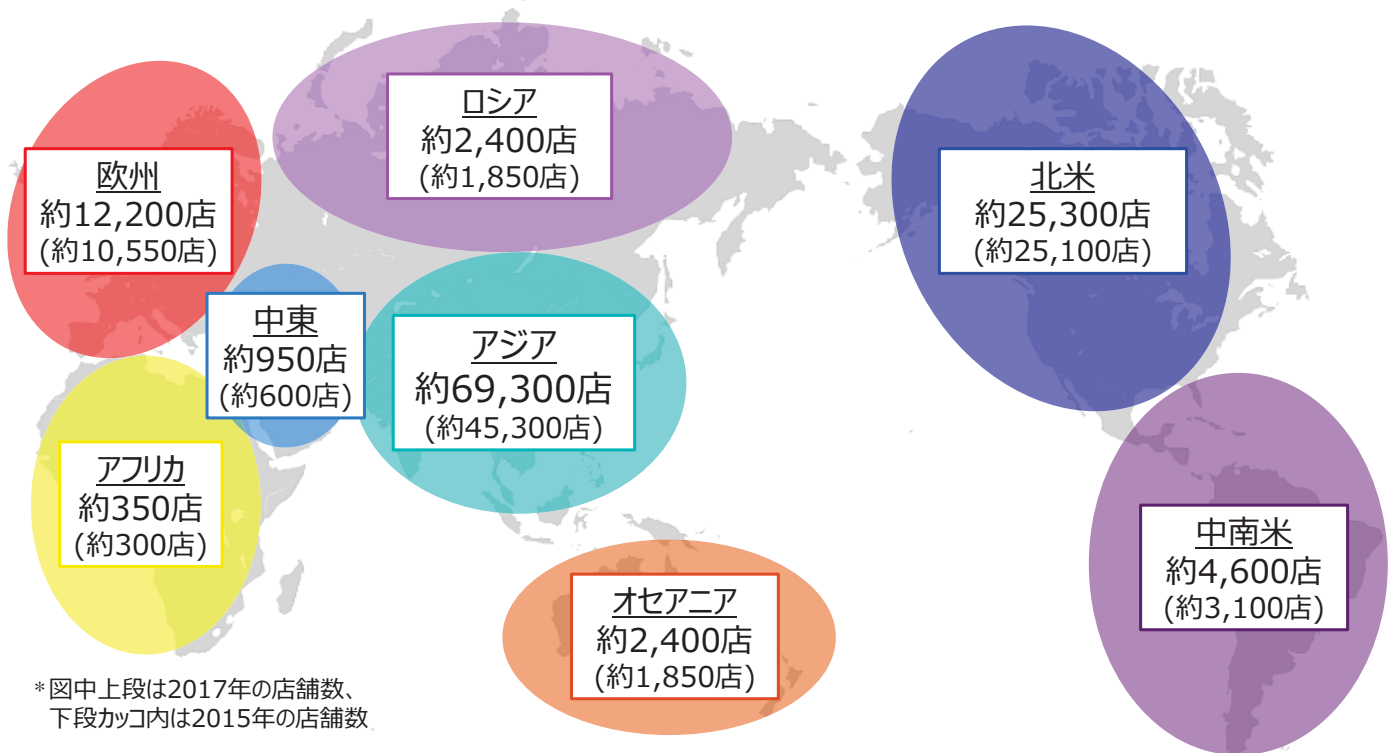
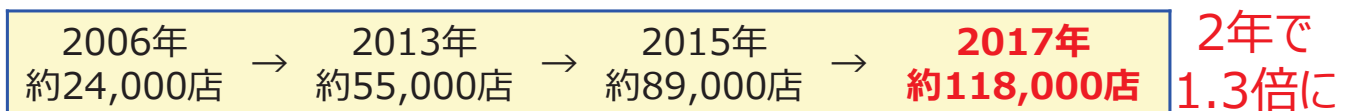


※2018年3月期より事業セグメントを変更しており、2016年3月期以前の数値は参考値です。



<データ出所> 輸出：財務省貿易統計
 現地生産：醸造産業新聞社（清酒大手4社の現地生産量合計）

日本食レストランの店舗数も急速に拡大中

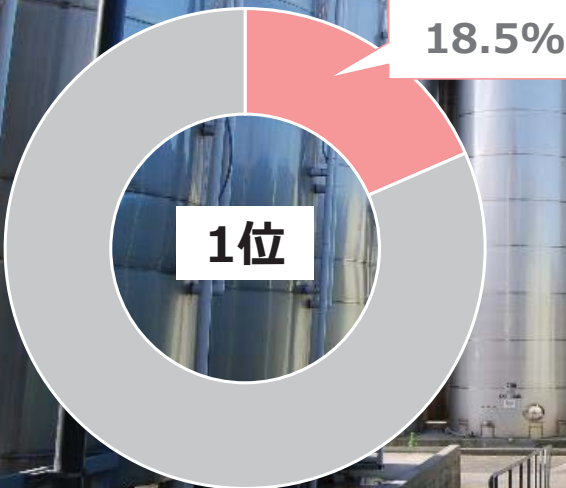


* 図中上段は2017年の店舗数、
 下段カッコ内は2015年の店舗数

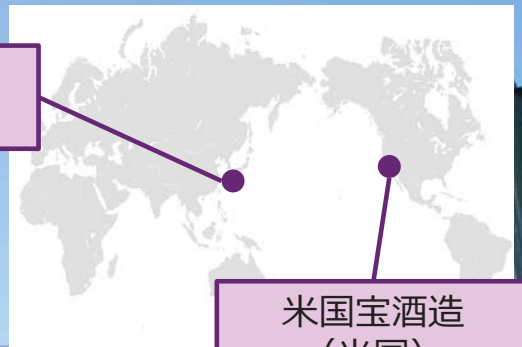
<データ出所> 農林水産省

米国宝酒造の清酒タンクヤード

日本を除く世界での
清酒市場シェア

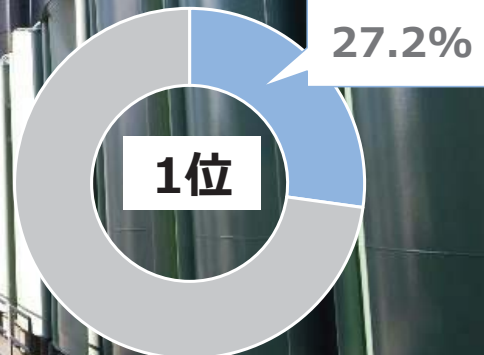


宝酒造食品
(中国)



米国宝酒造
(米国)

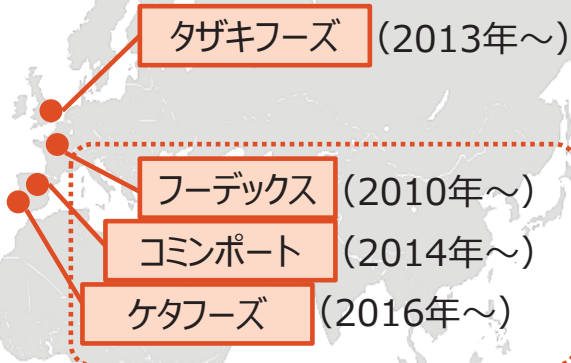
北米での清酒市場シェア



※市場データは2017年当社推計

海外日本食材卸事業のネットワークを拡大

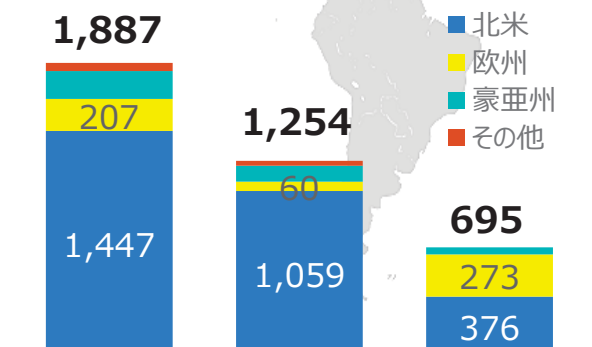
欧州ではトップシェア



ニッポンフード
(2017年～)

ミューチャルトレーディング
(2016年～)

競合他社との地域別売上高比較* (億円)



※A社・宝グループは2019年3月期、B社は2018年12月期予想値

日本食材卸網の拡充により
 事業規模を飛躍的に拡大するとともに、
 事業基盤の整備を進め、
 世界の和酒・和食市場における
 リーディングカンパニーに向けて
 地歩を固める。

(宝グループ中期経営計画2019)

国内事業と海外事業のシナジー

国内事業

和酒No.1メーカーのブランド価値

×

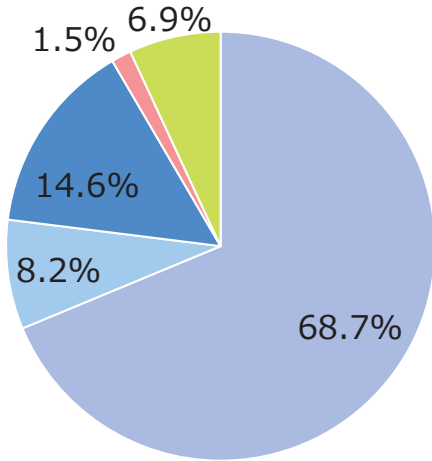
海外事業

海外清酒市場No.1のポジション
 +
 世界に広がる日本食材卸ネットワーク

||

世界の和酒・和食市場のリーディングカンパニーへ

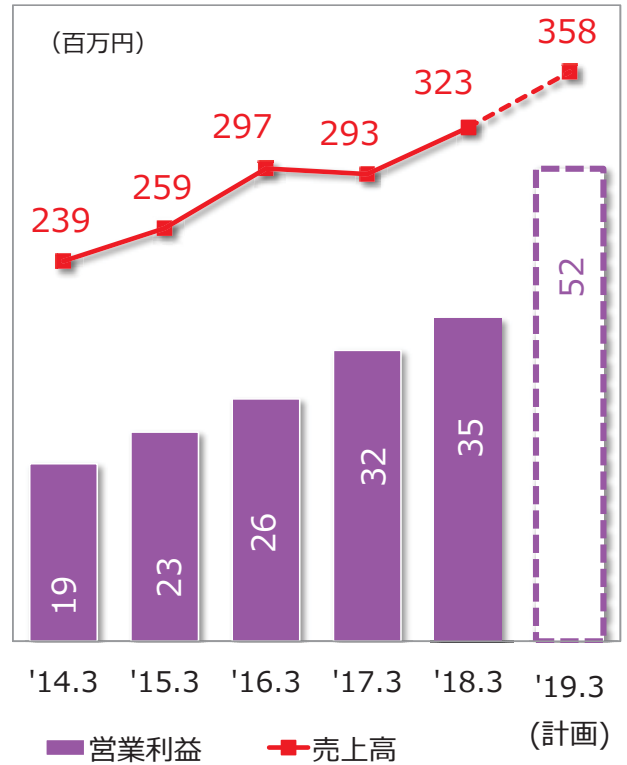
◆ カテゴリー別売上構成比 (2018年3月期)



- 研究用試薬
 - 理化学機器
 - 受託・その他
 - 遺伝子医療事業
 - 医食品バイオ事業
- バイオ産業支援事業

- 研究用試薬
- 遺伝子医療
- CDMOサービス

◆ 業績推移 (億円)



研究用試薬 ~ バイオ事業の収益基盤



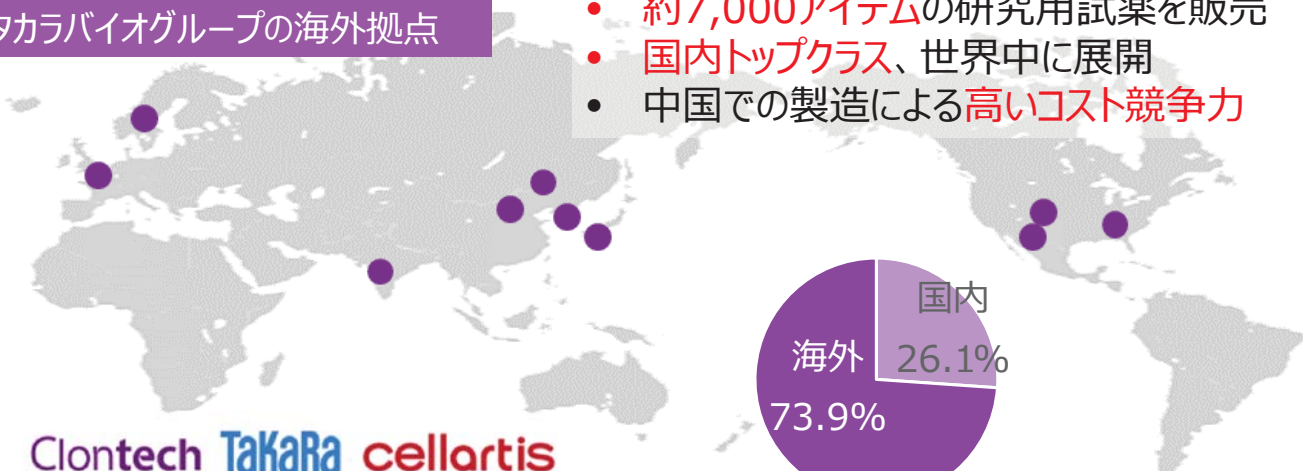
タカラバイオ



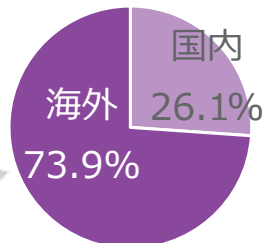
研究用試薬



タカラバイオグループの海外拠点

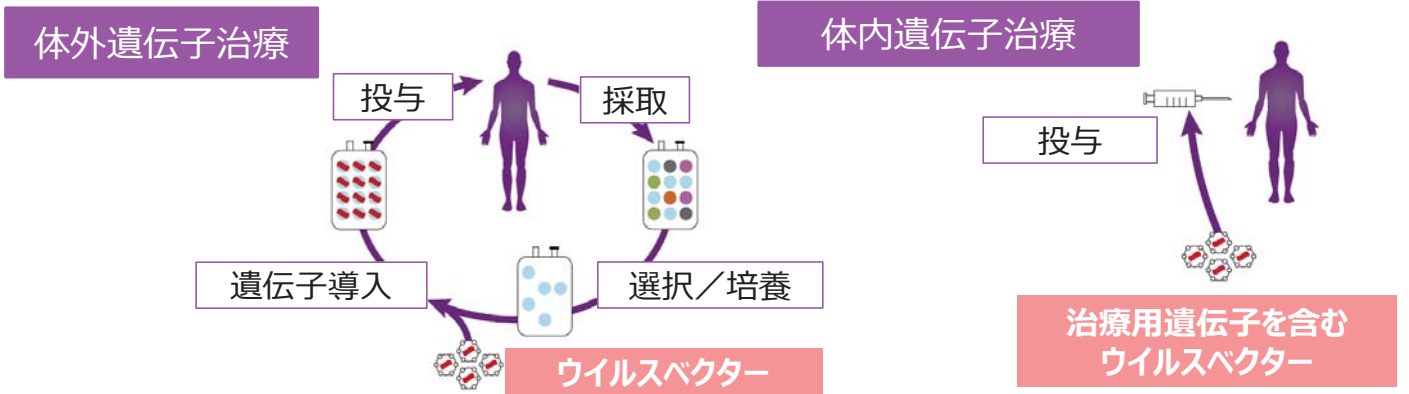


- 約7,000アイテムの研究用試薬を販売
- 国内トップクラス、世界中に展開
- 中国での製造による高いコスト競争力



Clontech Takara cellartis

<研究用試薬売上比率 (2019年3月期予想)>



プロジェクト		対象疾患	状況	提携	
腫瘍溶解性ウイルス	C-REV (TBI-1401)	日本	悪性黒色腫	第Ⅱ相臨床試験進行中 承認申請準備中	大塚製薬(株)
		日本	膵臓がん	第Ⅰ相臨床試験 進行中	大塚製薬(株)
		韓国	全疾患	検討中	Dong-A ST Co., Ltd.
		米国	悪性黒色腫	医師主導治験 第Ⅱ相臨床試験進行中	検討中
遺伝子改変T細胞療法	siTCR®	日本	滑膜肉腫	第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験進行中	大塚製薬(株)
		日本	適応拡大	検討中	大塚製薬(株)
		カナダ	固形がん	第Ⅰb相医師主導治験進行中	検討中
	CAR	日本	成人ALL*	第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験進行中	大塚製薬(株)
		日本	適応拡大	検討中	大塚製薬(株)

*ALL : B細胞性急性リンパ芽球性白血病

CDMOサービス～再生医療市場の発展を支援

CDMOサービス

再生医療等製品などの開発・製造を支援するビジネス

再生医療等製品関連 CDMOサービス 国内シェアNo.1

➢ 遺伝子導入用ウイルスベクターや細胞の受託製造・開発、品質・安全性試験など

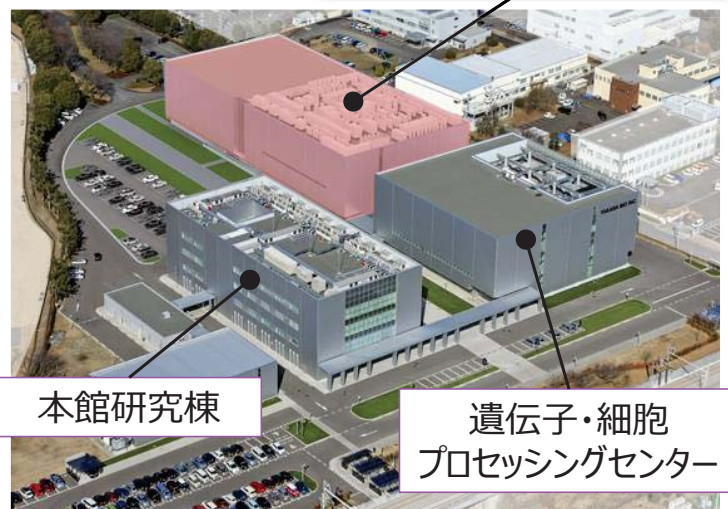
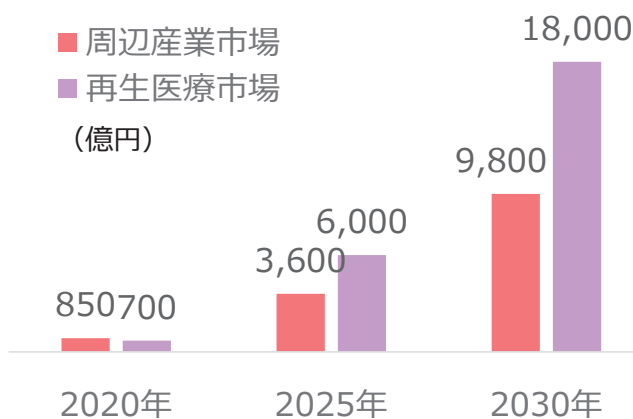
(CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization)

再生医療等製品とは？

- 人などの細胞を培養・加工し、身体機能の修復や治療等に用いるもの
- 遺伝子治療を目的として、人の細胞に導入して使用するもの

新施設
(2019.12稼働予定)

日本の再生医療の市場規模予測



※一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム 「再生医療市場性調査報告FIRM年報2017」より作成

**「バイオ産業支援」、「遺伝子医療」、
「医食品バイオ」の3つの事業部門戦略の推進と
これを支える経営基盤を強化し、
グローバル企業かつ再生医療等製品企業としての
プレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す。**

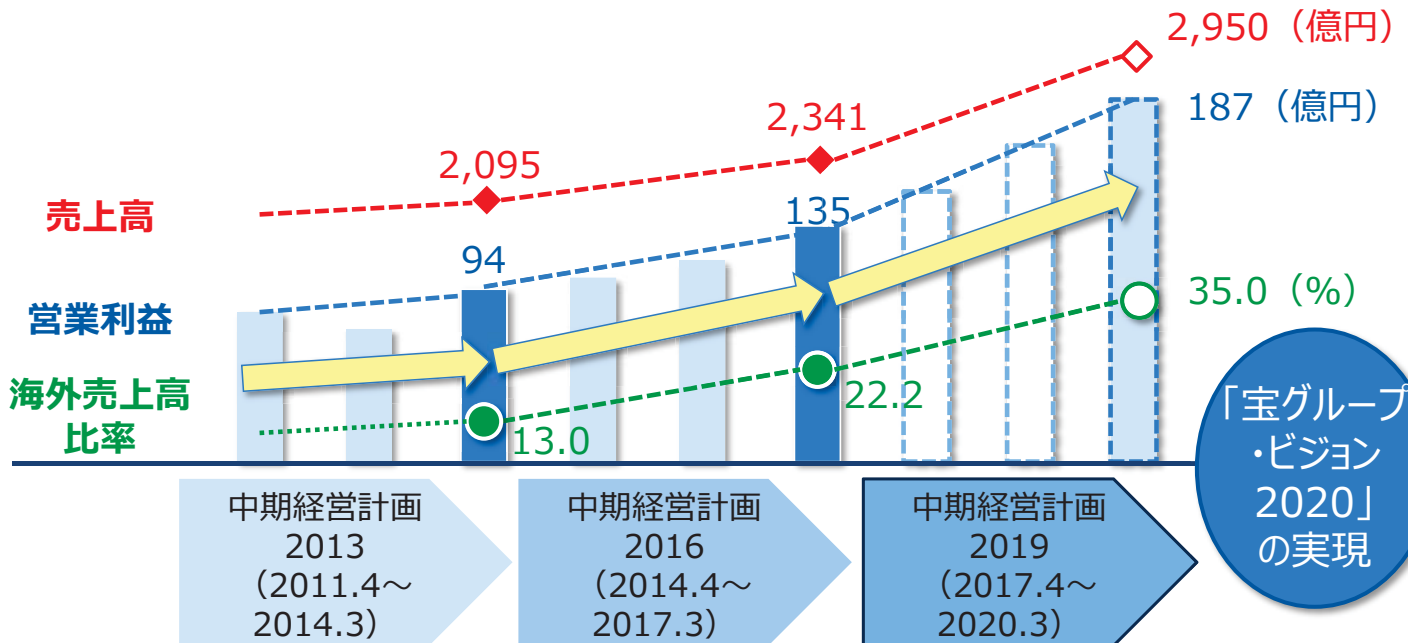
(宝グループ中期経営計画2019)

本日お伝えしたいこと

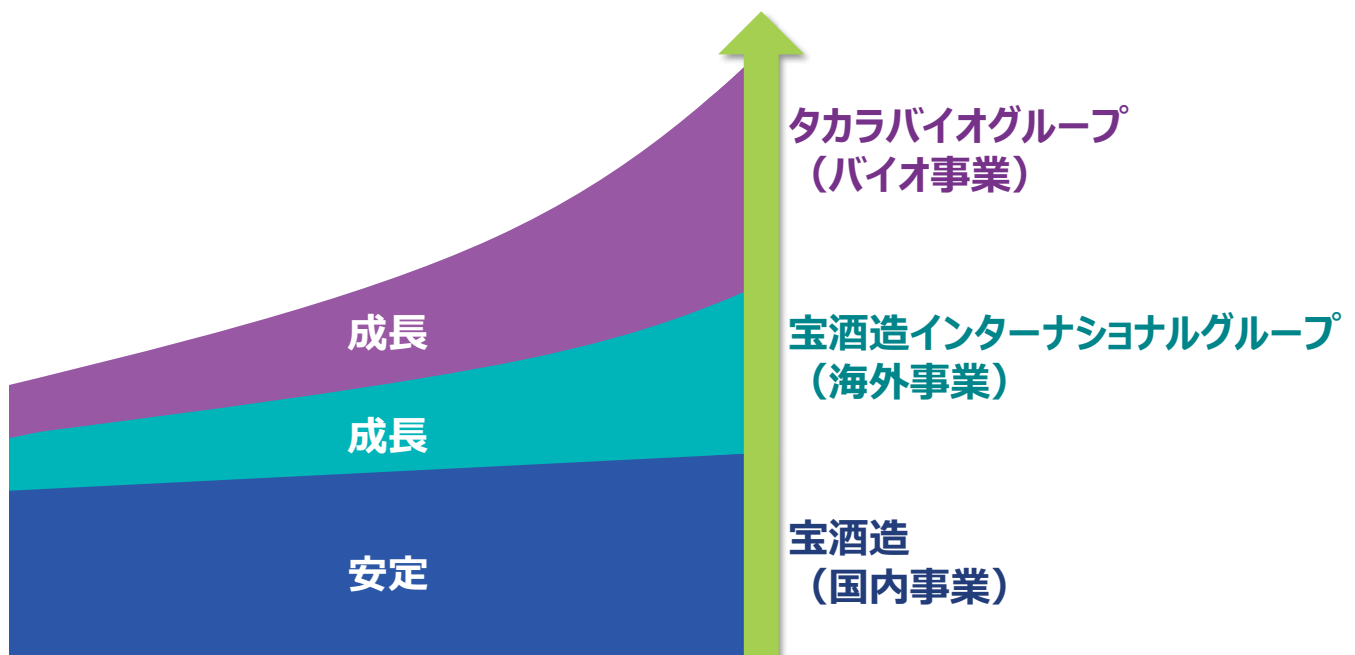
1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

「宝グループ・ビジョン2020」(2012年3月期～2021年3月期)

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、
環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する



安定事業と成長事業の両立により
環境変化に強い事業構造の確立をめざす



本日本お伝えしたいこと

1. どんな会社？
2. 収益基盤は？
3. 成長戦略は？
4. 将来ビジョンは？
5. 株主還元は？

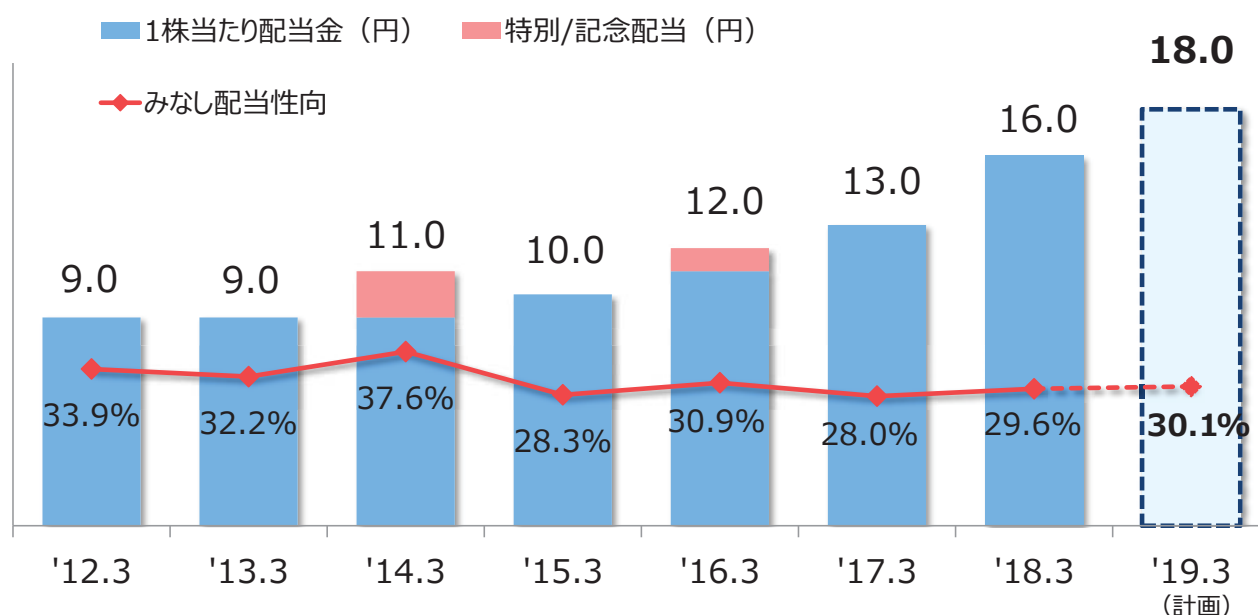
連結営業利益の水準に応じた増配

34

◆ 株主還元方針（宝グループ中期経営計画2019）

- 連結営業利益の水準に応じて増配する
- みなし配当性向*30%を目安とした配当

$$*みなし配当性向 = \frac{\text{配当総額}}{\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})} \approx 30\%$$



◆ 株主優待制度（2018年3月期実施例）

- 対象：毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様
- 発送時期：9月上旬～中旬

■ 酒類または調味料詰め合わせ

1,000株以上 → 3,000円相当の当社グループ商品等



100株以上 → 1,000円相当の当社グループ商品等



※商品は2018年3月期の実施例

■ 社会貢献活動への寄付

公的信託「タカラハーモニストファンド」

または

日本赤十字社 への寄付

1,000株以上

→優待品に代えて3,000円を寄付

100株以上

→優待品に代えて1,000円を寄付

【MEMO】

ご清聴ありがとうございました。

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞

宝ホールディングス株式会社

I R 部

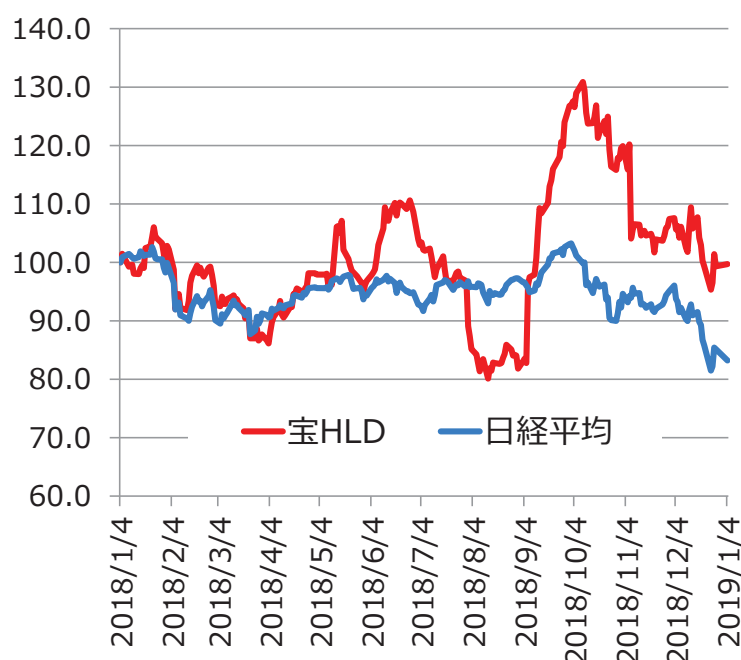
E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124

(参考) 株価の推移と株主構成

■ 宝ホールディングスおよび日経平均の株価推移

➤ 2018年1月4日の株価を100とした場合の指数



➤ 2018年12月末 株主構成 (株数ベース)

